

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ディープインパクト産駒が史上最速で2200勝を達成

7月5日(日)の4回阪神2日・第10レースとして行われた西脇特別ではラインベックが1着となり、ディープインパクト産駒のJRA通算勝利数が2200勝となりました。これはサンデーサイレンス産駒に次ぐJRA史上2頭目の記録で、産駒初出走の日から数えて10年0か月16日での2200勝達成は、サンデーサイレンス産駒の10年11か月25日を上回る史上最速での達成となります。

●サマーシリーズが続々と開幕

夏恒例となっている「サマーシリーズ」が本年も始まっています。まずは6月21日(日)、サマースプリントシリーズがスタート。同日の函館スプリントS(GⅢ)から9月13日(日)の産経賞セントウルS(GⅡ)まで、計6戦で“夏の短距離王”的座が争われます。同じく6月21日(日)、今年から対象レースに加えられた米子S(L)を皮切りにサマーマイルシリーズもスタート、9月13日(日)の京成杯オータムハンデキャップ(GⅢ)まで計4戦で実施されます。サマー2000シリーズは、今週7月12日(日)、七夕賞(GⅢ)で開幕。9月6日(日)の新潟記念(GⅢ)まで、計5戦で覇を競います。サマージョッキーズシリーズは、以上3シリーズの計15戦を対象として実施。サマースプリントシリーズ第2戦のCBC賞(GⅢ)をラブカンプーで制し、重賞初制覇を飾ったデビュー2年目の斎藤新騎手(栗東・安田隆行厩舎)が、米子Sの13着と合わせて現在11ポイントで首位に立っています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジャパンダートダービーは波乱、6番人気のダノンファラオ

ジャパンダートダービー(JpnI、3歳、7月8日、大井、2000m)は、2番手を進んだ6番人気のダノンファラオ(坂井瑠星騎手、牡、父アメリカンファラオ)が、逃げたダイメイコリーダを直線入口で捉えて1馬身 $\frac{3}{4}$ 差を付け、重賞初制覇を果たしました。キタノオクトパスが3着に入り、2番人気のミヤジコクオウは5着、単勝1.1倍という圧倒的支持を集めたカフェファラオは7着、3番人気のバーナードループは8着、フルフラットは12着に敗れています。

●ウイナーカーは人気のマイランコントロル【各地の主要3歳重賞】

ウイナーカー(6月28日、水沢、1400m)は、4~5番手を追走したマイランコントロル(牡、父トゥザグローリー)が直線に入って間もなく抜け出し、1番人気に応えました。

●7月18日の函館2歳Sに北海道のラジアントエンティが登録

函館2歳S(GⅢ、7月18日、函館)には、北海道所属のJRA認定馬(上級認定競走1着馬)のラジアントエンティ(牡、父スマートファルコン)が出走を予定しています。

●スパーキングレディーC(川崎)で連覇を狙うファッショニスター

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月15日、川崎、1600m)は、昨年の覇者ファッショニスターが最有力、以下メモリーコウ、マイハッピー、サルサディオーネ(大井)、ワンダーアマービレまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1英ダービー～単勝26倍のサーペンタインが逃げ切る

7月4日にエプソム競馬場で行われたG1英ダービー(3歳牡、芝2410m)は単勝26倍の伏兵サーペンタイン(牡)がこのレース初騎乗のE.マクナマラ騎手を背に逃げ切り勝ちを収めました。サーペンタインは6月27日にデビュー3戦目で初勝利をあげたばかりで、ここは中6日でのレースでした。父ガリレオはこれで5頭目の英ダービー勝ち馬を送り出して、種牡馬としての史上最多勝記録を更新。管理するA.オブライエン調教師(愛)もこのレース8勝目となり史上最多勝記録を樹立しました。

●G1仏オークス～ディープインパクト産駒が優勝

フランスのシャンティイ競馬場で7月5日に行われたG1仏オークス(3歳牡、芝2100m)はディープインパクト産駒のアイルランド産馬ファンシープルー(D.オブライエン厩舎・愛)が4頭横並びの接戦をわずかに制して優勝しました。ディープインパクト産駒の仏クラシック制覇は、2012年にG1仏1000ギニーを制したビューティーパーラー、2018年にG1仏ダービーを勝ったスタディオブマンに続く3頭目です。

●G1エクリプスS～ガイヤースが制覇

7月5日にイギリスのサンダウン競馬場で行われたG1エクリプスS(4歳上、芝1990m)はガイヤース(牡5歳、父ドバウイ、C.アップルビー厩舎)がエネイブルに2馬身 $\frac{1}{4}$ 差をつけて逃げ切りました。イギリスに長期滞在中のディアドラは5着でした。